

新年明けましておめでとうございます。

おかげさまでアウトドアサークルP A Oも今年めでたく3回目の新年を迎えることができました。これもみなさまのおかげと感謝しております。

今年もキャンプ・登山・ハイキングを中心として、今まで以上に楽しい企画を考えていきたいと思っておりますが、何よりもみなさまのご意見、ご参加をお待ちしております。

では、本年もどうぞよろしく願いいたします。

イベント案内

新春のハイキングと温泉ツアー

～北摂屈指の名山・剣尾山ハイキングと汐の湯温泉へ～

日 時 : 1月30日(土) 午前8時30分集合
目的地 : 剣尾山(大阪府/784m)～汐の湯温泉
集合場所 : JR千里丘駅〔JR京都線・大阪駅より普通で約15分〕
(改札を出て左前方の階段を下りた所。喫茶店CITYの前)
参加費 : ¥4,000-
装 備 : 防寒具、雨具、トレッキングシューズ、手袋、帽子
持ち物 : 弁当、水筒
その他 : 温かい飲み物を作りますのでカップをお持ちください。
歩行時間は約4時間。雨天中止。天候・積雪の状況により目的地
を変更する場合があります。
連絡先 : 栗原隆一

カニかにツアー

～冬の味覚の王者、カニをボイル・焼き・甲羅焼き・カニ刺し等などと
思う存分に味わい、温泉でゆったりとくつろぎましょう～

日 時 : 2月27日(土)～28日(日)
目的地 : 京都府/久美浜・民宿旅館
予 算 : ¥23,000-
連絡先 : 栗原隆一

3月のイベントは20日を予定しております。

春にはキャンプ、夏は登山も予定しております。キャンプでは四万十川、もしくは離島で、また、夏の登山はぜひとも日本アルプス、八ヶ岳等に行きたいと考えておりますがいかがでしょうか？

みなさまのご意見・情報をお待ちしております。

イベント報告

(NO. 27)

'98忘年会

大阪市北区/國乃家 12月19日(土)

3回目を迎えたPAOの忘年会。今回も飲んで、騒いで、大いに盛り上がりました。

初参加の方が半数を占めていましたが、宴会が始まるとそれはそれ、ちゃんこ鍋をつつきながら、ビールも進むと、会話も弾み熱気を帯びてきたのでした。

ほろ酔い気分満腹となり、みんなで和気あいあいとなってきたところで、そのまま二次会へ。

時間も遅くなってきたけれど、男性だけで三次会へ。ここでも、飲んで食べて。

結局、解散となったのは、すっかり夜も明けた頃だったのでした。

みなさん、どうもお疲れ様でした。

さて、この忘年会でどんな話をしていたのでしょうか…？後半ともなると記憶が定かではないところもありますが、これからのPAOの企画についての、みなさんからのご意見、希望等は是非とも参考にしていきたいと思っております。

どうも飲んでばかりの宴会ではありましたが、年に一度の忘年会ぐらいはこんな飲み会でもいいのではないかと考えております。ただ、本当のところは、是非ともみなさんに、アウトドアのイベントに参加していただきたいと考えております。キャンプでの焚き火を囲みながら、星空を仰ぎ見ながら酒を飲み、話をする。山の頂上でビールを飲み、帰りには温泉に入ること。このようなことは、飲み会での楽しさとはまた違ったものではありますが、何倍も楽しいことだと確信しております。

何かの縁があって、PAOを知ることになり、そしてまた何かのきっかけがあって参加するようになり知り合うことができたのだと思います。

今この同じ時代に生きていること、知り合えたこと、いっしょに酒を飲んだこと、キャンプしたこと、山に登ったこと、温泉に入ったこと…このようなことをこれからも大切にしていきたいと思う今日この頃です。

今年もますますPAOを発展させ、充実した1年としましょう。

(栗原隆一 記)

PAO会長・栗原隆一の海外放浪記

I 中国・内蒙古編

17 パオの完成

日本を出て約一ヶ月、草原に入ってから3週間になろうとしている。8月の下旬ともなると、ここでは夏も終わりだ。太陽が沈めば急激に冷え込み、夜はシュラフの中でも寒さのためになかなか寝付けない。

草原での生活にもすっかり慣れ、快適にさえ過ごせるようになった頃、パオの完成も間近となった。

羊の毛をたたいて、固めて作ったフェルトをパオの大きさにあわせて切り、縫いあわす。これをパオの周りにかぶせ、屋根にのせる。後は、ロープでこのフェルトを固定する。最後に、スノコのような床となる板を運び込みいよいよ完成となった。

予定を大幅に遅れたが、ようやく自分たちの手作りのパオが完成したのである。

「やったー!!!」ということで、早速、記念撮影となった。隣に並ぶ既製品のパオと比べれば確かに貧弱そうなところもあるが、何しろ自分たちが力を合わせ、時間をかけて作ったものでもあるので思い入れもあり何だかよく見えてくる。

しかし、この草原での生活もあと2日を残すだけである。明日は「パオの完成祝い」、と言うことで、今までお世話になった近所の人たち、この計画の窓口となり手続き、実施について面倒を見ていただいた方、それに、たまたまここに来ていた日本人の旅行者たちを呼んでの宴会をすることになった。

その日の晩は、みんなパオで寝るのかと思っていたら、ほとんどここで寝たいという希望者はいなかった。寒そうだ、というのはわかるが、せっかくだし僕はこのパオで寝ることにした。

シュラフにもぐり込むとみんなが遠慮したのもわかった。確かに、テントに比べれば、足も十分に伸ばせるし、広々とはしているものの、寒い。すきま風が、どこからともなく入ってくるのであった。

18 祝宴の日

今日は朝から宴会の準備のために忙しい。今夜のメニューはカレーライスである。ここ内蒙古の人たちにはたして気に入ってもらえるかどうか？

そこへ、一頭の羊がどこからか連れてこられた。どうやら、ここの人たちからの贈り物であるということである。さて、この後、この羊はどうなってしまうのか…？羊も自分のこの後の運命を知っているのか、ここまで来るのはだいぶ嫌がっていたようで、なかば引きずられるようにしてやってきたのであった。

夕方になると、ここの人たちが何人か集まってきた。羊を解体するようである。この、羊の解体の方法もいろいろあるようであるが、ここでは仰向けに寝かせ、首の下あたりにナイフを入れ、そこから手を突っ込んで動脈を切るというようなことであった。この方法であればそんなに苦しむことはないということである。その真偽の程はわからないが、羊は寝かされてから、暴れることも、なきごえをあげることもなかった。

羊はどこも捨てられるところはない。毛皮をはがれ、次々と手際よく解体されていく。腸詰めが作られ、肉といっしょに塩茹でにされる。

カレーも煮込まれ、羊肉の塩茹でもでき、お客さんも集まり、いよいよ宴会が始まった。酒は、もちろんあのアルコール分 63 度の「大草原」である。おごそかな雰囲気が始まった宴会もこの酒で、たちまち騒がしくなりだす。集まっていた近所の人たちとも、言葉は通じないが、今までの生活からなんとなく意思は通じているようになっていた。

夜もふけ、お客さんも帰ったが、我々ローバー隊の宴会は続いていた。なにしろ「大草原」である。みんな、そうとうに酔っている。一人、二人と寝ていったが、まだ何人かは残って飲んでいて。

僕はテントに帰って休んでいると、「どすんっ。どすんっ。」と物音や騒がしい声がきこえた。ケンカでも始まったのかな？とも思っていたが、どうやらそうでもないらしい。

そのうちよりいっそう騒がしい声に泣き声までも聞こえ出した。テントで寝ていたみんなが飛び出して見に行ってみると、ボルドーさんが、目の上あたりから血をダラダラと流し、泣き叫んでいるではないか！！あの、モンゴル相撲の大会でもチャンピオンになったことがあるというボルドーさんである。

何があったのかと聞いてみると、どうやら飲んで酔ったみんなでモンゴル相撲をやるということになったらしい。ボルドーさんを相手にみんなが突っかかっていったらしいが、どうにもみんなすぐに投げられる。それならば、と言うことでみんなでいっせいに飛び込んでいったところ、さすがのボルドーさんも倒れてしまい、その時地面に落ちていたガラスの破片が何かで切ってしまったということである。

ボルドーさんは血を流し、泣いているが、どうも酔っ払っているようで、あまり痛みは感じないのかしばらくすると泣き止み、眠ってしまった。

タオルで押さえたまぶたの上は、鋭く切れているが血は止まったようだ。

この後の処置をどうするか？と言うことでまた、おおいにもめた。話をしている半分が今まで飲んでいたのであるから、誰もが好きなことを言って話も前に進まない。結局、ボルドーさんをこれから病院に運ぶか、それともこのままにして明日の朝病院に行くことにするかということの二つに意見が分かれた。

しかし、これから病院に運ぶにしても車がない。担いでいく訳にも行かず、自転車や馬車に乗せることもできず、乗ったとしてもいまからでは朝になってしまう。

ケンカになるまでもめたが、ボルドーさんも眠っているし、眼も大丈夫のようであり、明日の朝に病院に連れて行くということでこの夜は、落ち着いた。

翌朝、我々よりも早く起きていたボルドーさん。「大丈夫ですか？」と言うと、「すみません。昨日は何がありましたか…？」とあまり覚えていないようであった。

(次号につづく)

PAO通信・PAOの活動に関するご意見、ご希望また情報や体験談をお寄せください。

アウトドアサークルPAO 栗原隆一